



株式会社プラップジャパン (2449)

2020年8月期第2四半期 (50期)

決算説明会

業績の報告

- 連結業績は減収減益 ↓
- 単体業績は増収増益 ↑
- 国内子会社・海外子会社は減収減益 ↓

今後の経営方針

- 「コミュニケーション・コンサルティングカンパニー」へ
- デジタルコミュニケーションサービスの拡充
M&A、新会社設立、新サービス開発

資料アジェンダ

業績の報告

1. 業績サマリー
2. 連結・単体業績
3. トピックス
4. 子会社業績

今後の経営方針

1. 今期見通し
2. 事業拡大
3. 下期方針

業績の報告

1. 業績サマリー
2. 連結・単体業績
3. トピックス
4. 子会社業績

今後の経営方針

1. 今期見通し
2. 事業拡大
3. 下期方針

業績サマリー

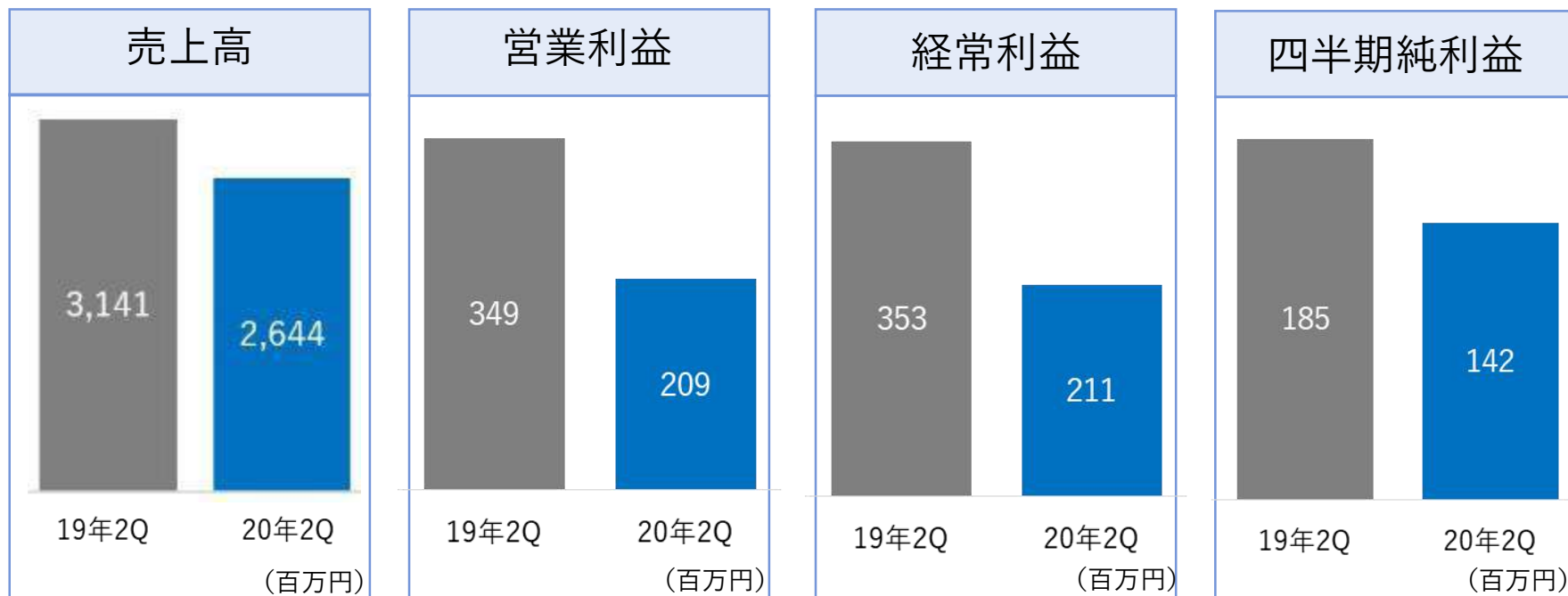
【連結】 減収減益 中国子会社の大幅な減収減益が影響

	2019年8月期 2Q	2020年8月期 2Q	前年同月比
売上高	3,141百万円	2,644百万円	84.2%
営業利益	349百万円	209百万円	60.0%
経常利益	353百万円	211百万円	59.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	185百万円	142百万円	77.0%

【単体】 増収増益 新規・既存クライアントの受注、英語対応強化

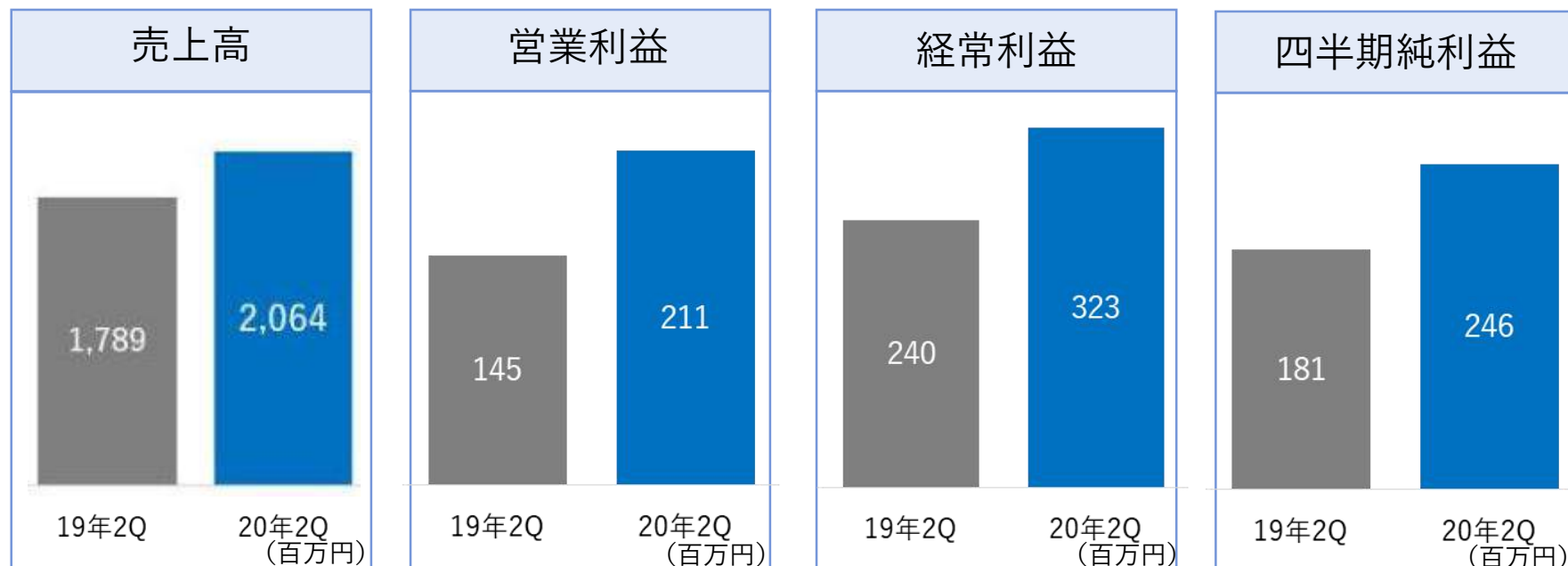
	2019年8月期 2Q	2020年8月期 2Q	前年同月比
売上高	1,789百万円	2,064百万円	115.4%
営業利益	145百万円	211百万円	145.4%
経常利益	240百万円	323百万円	134.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	181百万円	246百万円	135.4%

連結業績と要因



中国子会社の大幅な減収減益が影響し
連結業績は減収減益

単体業績と要因

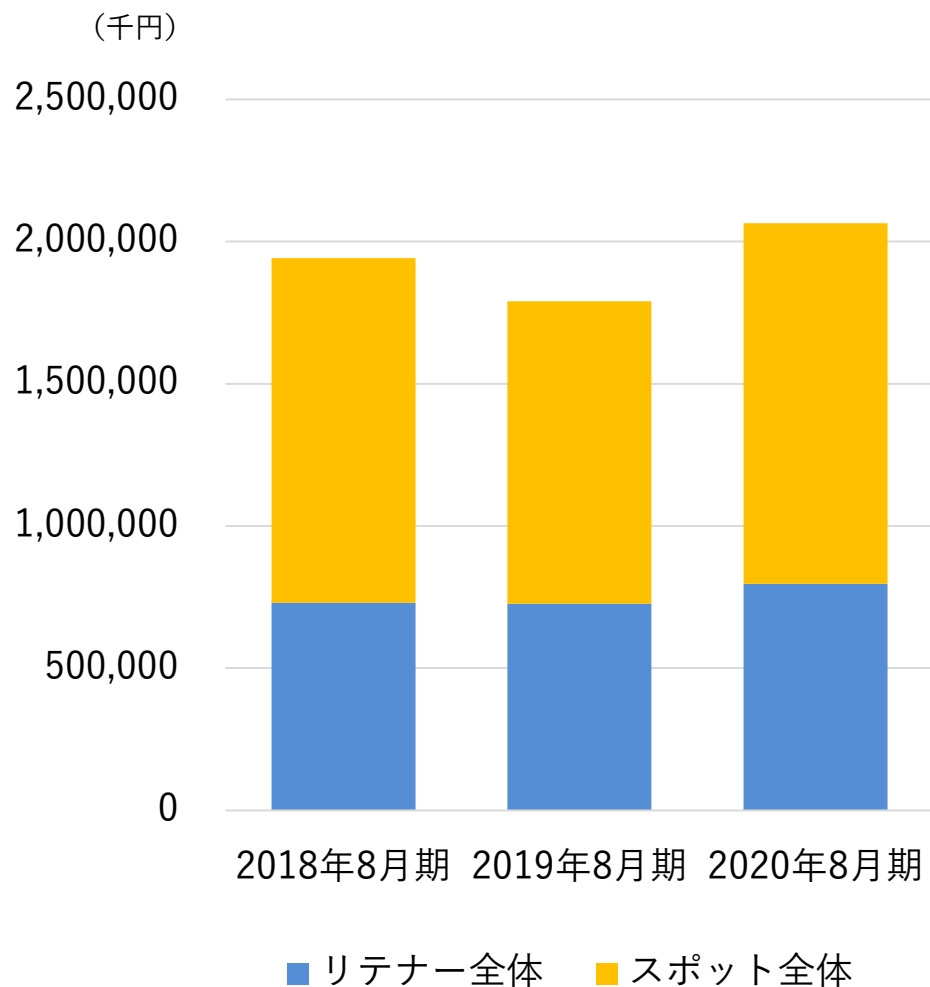


既存クライアントとの契約維持

サービス拡充・体制強化による新規クライアントの獲得

トレーニング/危機管理コンサルティングの受注拡大

単体業績 受注内訳



スポット契約
件数、金額ともに増加

リテナー契約
件数、金額ともに増加

連結子会社業績

国内子会社

3社合計で減収減益

BRAINS
COMPANY

ASAHI
Agency



- 複数のIT、消費財、食品などのリテナー業務・スポット業務を受注
- 受注が前期に及ばず

海外子会社

3社合計で減収減益

PRAP China

BRAINS
China

PRAP ASIA

- 中国子会社2社
既存クライアントの業務削減、大型案件受注が前期に及ばず
- シンガポール子会社
東南アジア複数国で業務を受注し、減収増益

今期トピックス

事業拡大

- ◆ ポイントシンガポールを子会社化 東南アジア事業を強化（2020年2月）
- ◆ 合併会社「プラップノード株式会社」設立 デジタル技術を活用（2020年2月）

サービス拡充

- ◆ 英語ニーズの高いクライアントに対応する「国際部」新設（2019年9月）
- ◆ 『ネット炎上リスク診断』サービスの提供を開始（2019年10月）
- ◆ プレスリリース配信アジア大手 Media OutReach 社と提携（2019年12月）
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対応「Digital PR Platform」無償提供（2020年2月）
- ◆ 記者会見ライブ配信「リモート記者会見パッケージ」提供開始（2020年3月）
- ◆ 「リモートメディアトレーニングプログラム」提供開始（2020年3月）

受賞等

- ◆ 職場における LGBT に関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標」で最高評価「ゴールド」を PR 会社で唯一 4 年連続受賞（2019年10月）

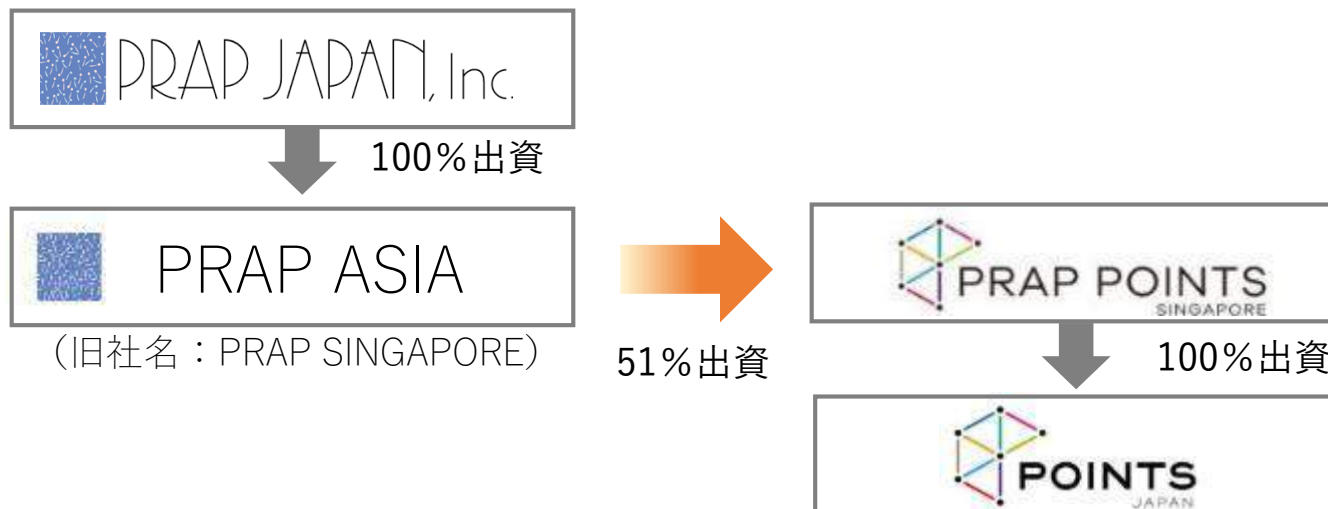
今期トピックス①

ポイントシンガポールの子会社化

東南アジアを中心としたプロモーション施策を行なう
ポイントシンガポールと資本業務提携を行い、子会社化

社名をPRAP POINTS Singapore PTE. LTD.（プラップポイント）に変更

- ◆ プロモーションノウハウの共有、東南アジア現地における体制強化
- ◆ ポイントジャパンの訪日インバウンド営業ネットワークとノウハウを活用し、当社グループの海外事業の基盤拡大を推進



今期トピックス②

新会社「プラップノード」設立

クラウドマーケティングを行うショーケース社と合併会社
「プラップノード株式会社」設立

デジタルコミュニケーション領域におけるソリューション提供

- ◆メディア環境やPR環境の急激な変化に伴い、デジタル領域におけるPRニーズは高まる
- ◆効率的なコミュニケーション活動を可能にする革新的なデジタルサービスを提供



今期トピックス③

リモート対応の新サービスを提供

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う集会・外出の自粛に対応可能な
2つの新サービスを提供開始

◆ リモート記者会見パッケージ

- ✓ イベントの様態を撮影し、動画をライブ配信することで、メディア関係者が会場に集まることなくオフィスや自宅でも参加可能となるサービス
- ✓ プレゼンテーション、広報資料の配布、チャット等を活用した質疑応答などもリモートで実現
- ✓ 映像をダイジェスト版として1分ほどの長さに編集し、ターゲティング広告として拡散する追加メニューも用意

◆ リモートメディアトレーニングプログラム

- ✓ テレビ会議システムを活用し、当社の専用スタジオで対面にて行っていたメディアトレーニングを遠隔地であっても受講可能に
- ✓ 危機発生時の対応ノウハウについて講義する「レクチャーパート」と、モニター越しに本番さながらの緊迫した模擬記者会見や取材を体験できる「シミュレーションパート」がセットになっており、対面の場合と遜色なく実践的なマスコミ対応能力を身につけられる構成

業績の報告

1. 業績サマリー
2. 連結・単体業績
3. トピックス
4. 子会社業績

今後の経営方針

1. 今期見通し
2. 事業拡大
3. 下期方針

連結業績の見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大は、海外子会社・国内ともに影響大
事態の収束がみえず当社業績への影響が見通せないため、
業績の見通しを「未定」に修正

◆単体・国内子会社

東京2020オリンピックの延期、インバウンド案件の大幅な減少、
記者会見・イベントなどの延期や中止、日本国内の景気減速

◆中国子会社

中国国内の景気減速、当社の業務の一時的な稼働停止

	前回予想	今回修正
売上高	5,870百万円	未定
営業利益	731百万円	未定
経常利益	731百万円	未定
親会社株主に帰属 する四半期純利益	430百万円	未定

当社の経営状態

安定した財務基盤と、ストック収入としての多数のリテナー契約
長期的な経済低迷の中でも安定した経営が可能

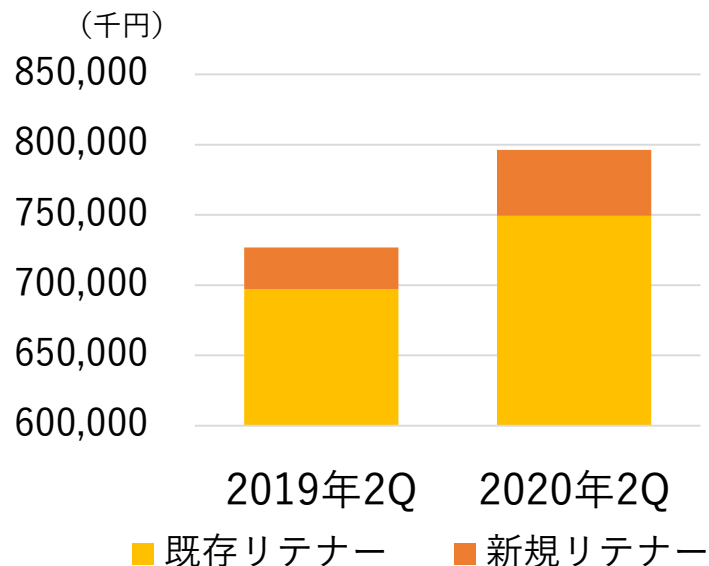
◆ 連結貸借対照表

現金及び預金としての資産を多く保有

	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
現金及び 預金	3,657百万円
流動資産 合計	4,769百万円

◆ リテナー契約売上高

既存・新規ともに多数の契約を受注



あしたの“常識”をつくる

コミュニケーション・コンサルティング
カンパニー

多様な価値観の世の中において

「あらゆる関係性を良好にする」というミッションを軸に
ビジネスの領域を拡大

下期の方針

状況に応じた柔軟かつ迅速な対応や経営を心掛けると同時に下記施策を展開

事業拡大

- ◆積極的なM&A
- ◆デジタル領域の拡充 新サービスの開発、デジタル企業との業務提携
- ◆東南アジア拠点の強化

人財・経営力強化

- ◆テレワークや業務効率化/生産性向上に向けたITシステム投資
- ◆人財強化を含めた組織強化とグループ連携

創業50周年

- ◆創業50周年を契機に、次の50年に向けた施策

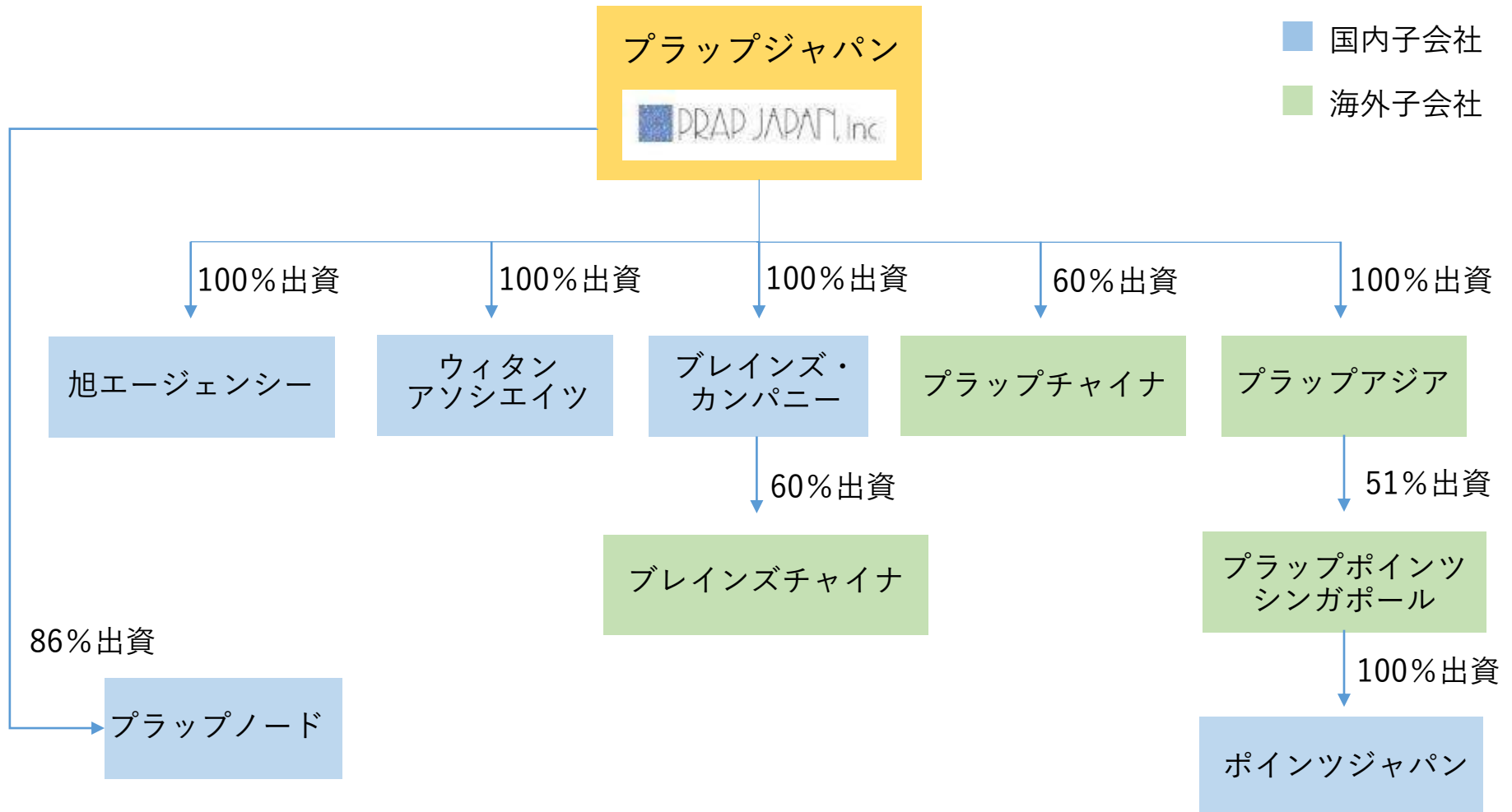
参考資料

会社概要

創立	1970年
資本金	4億7,000万円
代表者	代表取締役 鈴木勇夫
本社	東京都港区赤坂1丁目
従業員数	275名（2019年8月末・連結）
売上高	61億1,500万円（2019年8月期・連結）
連結子会社	株式会社ブレインズ・カンパニー 株式会社旭エージェンシー ウィタン アソシエイツ株式会社 プラップノード株式会社 北京普楽普公共関係顧問有限公司（プラップチャイナ） 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司（ブレインズチャイナ） PRAP ASIA PTE. LTD. PRAP POINTS Singapore Pte. Ltd.(プラップポイントシンガポール) ポイントジャパン株式会社

グループ概要

プラップジャパングループは、株式会社プラップジャパンを中核としたコミュニケーション・コンサルティンググループです。



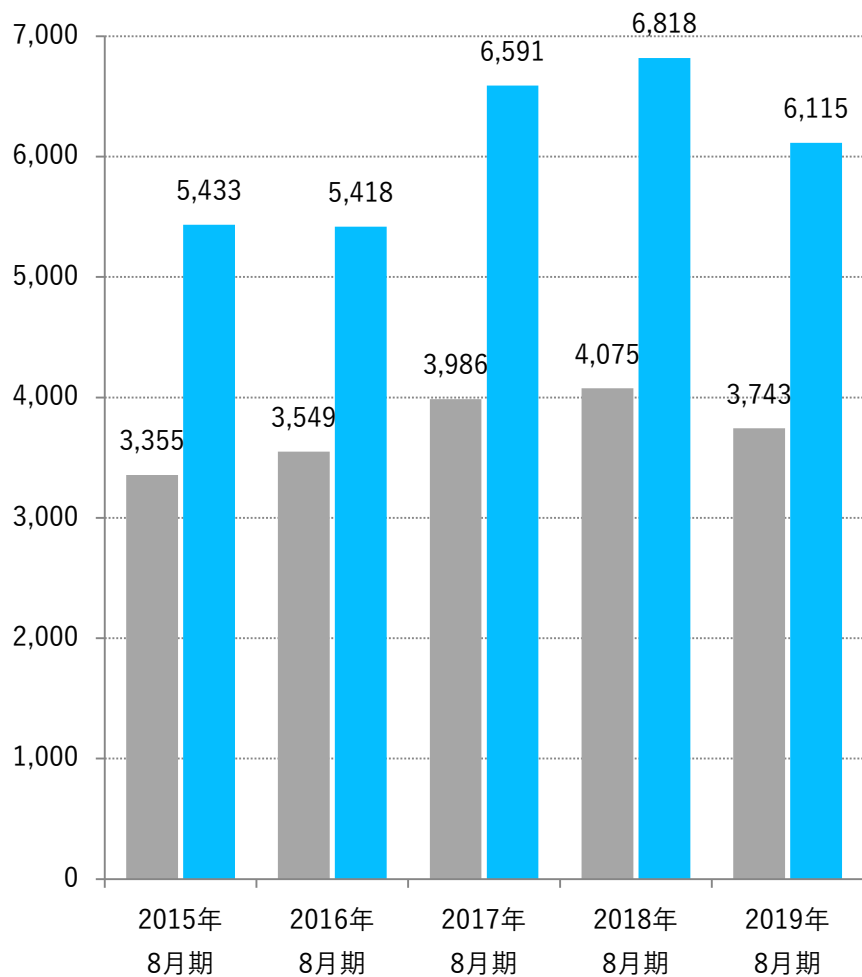
グループ会社概要

名称	株式会社 ブレインズ・ カンパニー	株式会社 旭エージェン シー	ウィタンアソシ エイツ株式会社	北京普楽普 公共関係顧問有 限公司 (プラップ チャイナ)	北京博瑞九如 公共関係顧問有 限公司 (ブレインズ チャイナ)	プラップアジア	プラップ ポイント シンガポール	ポイント ジャパン
創立	1974年	1980年	1982年	1997年	2008年	2018年	2016年	2016年
資本金	10百万円	20百万円	18百万円	37万USドル	20万USドル	25万SGドル	5万SGドル	百万円
代表者	菅井 利雄	高木 恵子	田村 章	鈴木 勇夫	齋藤 雅弘	齋藤 雅弘	山本 紘章	小林洋介
本社	東京都港区 赤坂1-12-32 アーク森ビル	東京都港区 赤坂1-12-32 アーク森ビル	東京都港区 赤坂1-12-32 アーク森ビル	(北京オフィス) 中国北京市東城区 東長安街1号東方 広場西 1座弁公楼902室 (上海オフィス) 中国上海市淮海路 93号大上海時代広 場 弁公楼2509-10室	中国北京市東城 区 東長安街1号東方 広場西 1座弁公楼709室	5 Temasek Boulevard #11-02 SUNTEC TOWER FIVE Singapore	Twenty Anson #11-01, 20 Anson Rd, Singapore 079912	東京都千代田区 麴町4-8-1 THE MOCK-UP 206
従業員数	11名	6名	2名	42名	11名	1名	4人	3人
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング活動を支援するライフスタイル提案型の戦略的PRにおいて実績 ・アート、デザイン、食、ヘルスケア、美容などカルチャー分野に強み 	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング・コミュニケーション・エージェンシーとしてマーケティングの入口から出口までをフルサポート ・海外クライアントとの取引に多数の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスボーダー・コミュニケーション、ICT分野を中心としたB to B分野のPRにおいて高い実績 ・欧州ゲートウェイ・プログラムなどEUの公的機関を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のPR会社として、他社に先駆け中国国内に現地法人を設立。現在、2現地法人、3事務所を拠点に事業を展開 ・中国市場において、日本企業のマーケティング活動において多数の実績 ・特に、インターネットマーケティング部を新設し「微博」などのデジタルインフラを活用したコミュニケーション活動に強み 	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジア全域において、日本企業の広報活動・マーケティング活動の支援を実施中 ・シンガポールやインドネシア他での実績あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール・東京・ベトナムにオフィスを持ち、東南アジアを中心としたプロモーション・イベントの企画・制作、訪日プロモーション施策を展開 		

売上高／営業利益の推移

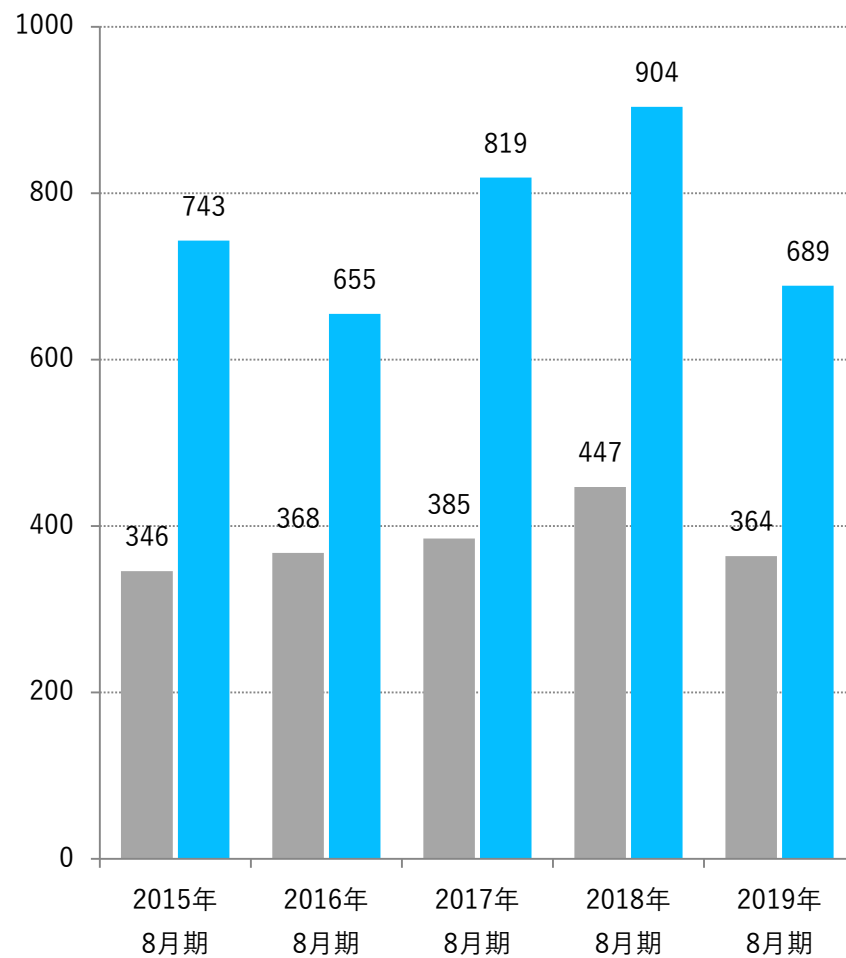
■ 単体売上高 ■ 連結売上高

(百万円)



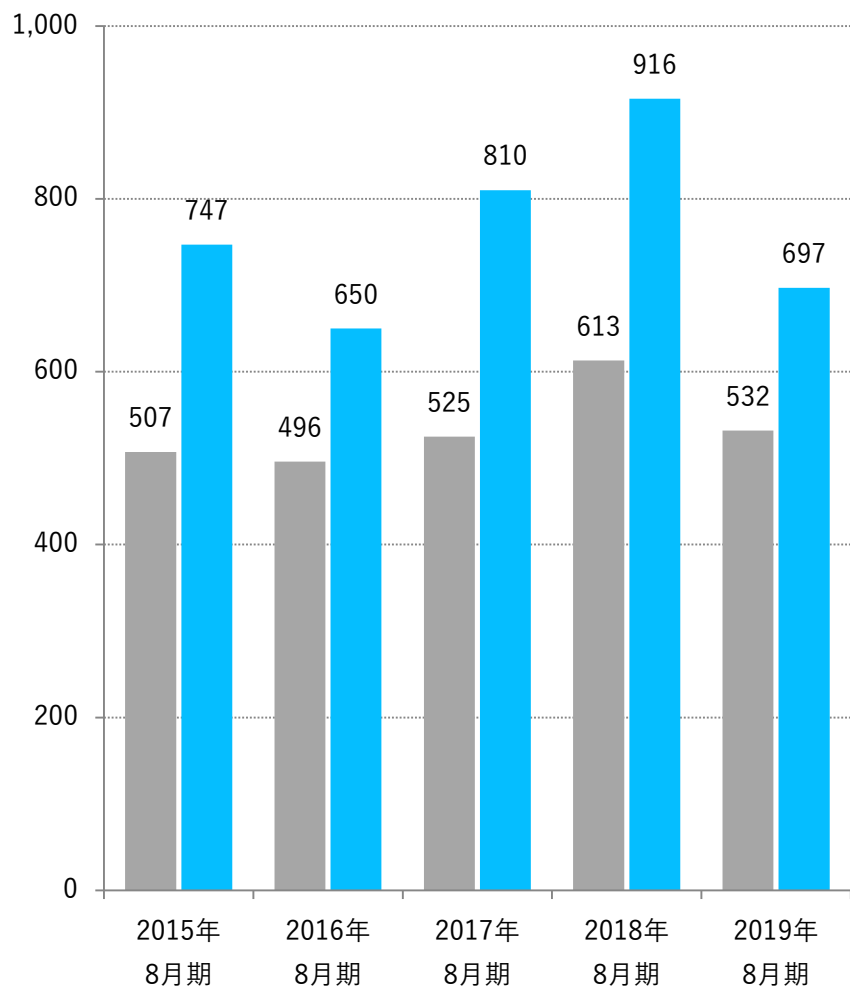
■ 単体営業利益 ■ 連結営業利益

(百万円)

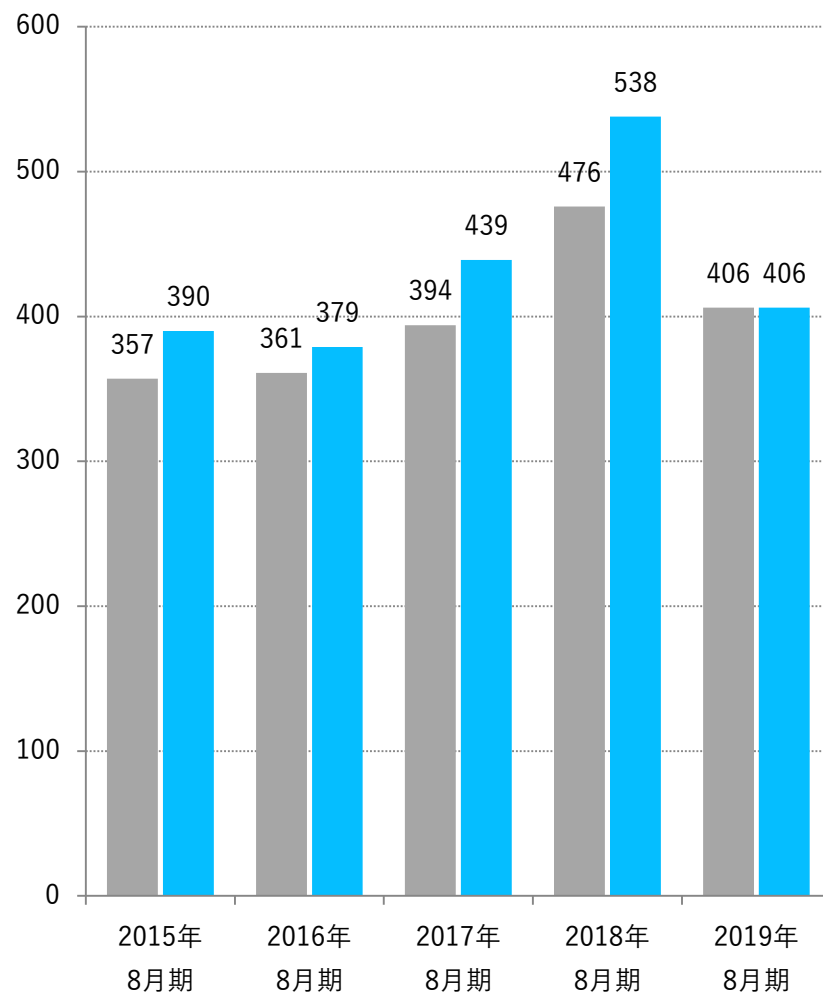


経常利益／当期純利益の推移

■ 単体経常利益 ■ 連結経常利益



■ 単体当期純利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。ご承知おきください。

お問い合わせ

株式会社プラップジャパン 経営企画室

TEL : 03-4580-9125 Email : ir_info@ml.prap.jp